

宮城県港湾戦略ビジョン策定委員会
第2回 委員会資料

第1回委員会での主な意見と対応

平成23年8月2日

社団法人 日本港湾協会

1. 統合の必要性について

- 3港統合の必要性について説明を充実させる必要がある。また、石巻港の重要性をアピールする必要がある。
- 仙台塩釜港は東北の中枢港湾としての重要性の説明が必要である。
- これまでの仙台塩釜港と石巻港は競合関係にあったが、これからは協働関係を築いていくという視点での取りまとめを進めたらどうか。
- 統合港の果たす役割を明確にする必要がある。

- 統合の必要性について、東日本大震災からの復旧・復興という視点も加味し、貨物の取扱状況、投資環境、観光、防災等の視点で整理を行った。また、石巻港の重要性についても追加した。
- 東北地方における仙台湾の重要性を、仙台湾のポテンシャルとして、東北のグローバルゲートとしての期待、東北の産業を支える拠点化の動き、広域観光連携の動き等の視点で整理を行った。
- 3港統合による効果について、「統合の目標と方針」「統合港湾の将来ビジョン」を踏まえ、第3回委員会で「統合の効果」として検討を行う。

2. 観光振興について

- 大型クルーズ船への取り組みについての検討が必要である。

- 第3回委員会で具体の取り組み戦略として検討を行う。

3. 防災機能強化について

- 災害復旧等に関し、仙台塩釜港と石巻港はそれぞれ補完しあうという視点が必要である。

- 第3回委員会で具体の取り組み戦略として検討を行う。

4. その他

- 整備スキームについても一体化を考える上で、今までとは違う整理が必要である。

- 第3回委員会で具体の取り組み戦略として検討を行う。